

宮崎空港発着の国際定期便（ソウル線・台北線）を利用したグループの交流活動を支援します！

○期間：平成31年4月1日出発便～令和2年3月31日到着便

※予算の上限に達した時点で受付を終了します。

宮崎空港を発着するソウルや台北への国際定期便を利用して、県内外のグループが交流活動を行う場合、グループの人数に応じて渡航に要する経費の一部を助成します。

〈国際線グループ交流促進補助事業〉

グループの人数	県内グループ		県外グループ	
	片道利用	往復利用	片道利用	往復利用
4名～ 8名	10,000円	20,000円	6,000円	12,000円
9名～13名	20,000円	40,000円	12,000円	24,000円
14名～18名	30,000円	60,000円	18,000円	36,000円
19名～23名	40,000円	80,000円	24,000円	48,000円
24名～28名	50,000円	100,000円	30,000円	60,000円
29名～33名	60,000円	120,000円	36,000円	72,000円
34名～38名	70,000円	140,000円	42,000円	84,000円
39名以上	80,000円	160,000円	48,000円	96,000円

【乗り継ぎ加算】

国際定期便を往復とも乗り継ぎ利用して渡航する場合（同一航空会社に限る。）は、1人あたり2,000円が加算されます。※片道利用の場合は、1,000円加算。

(例) 宮崎 → ソウル → シンガポール
(アジアナ航空) (アジアナ航空)

※注意事項

- ① 旅行会社が企画するパッケージ旅行商品を利用して渡航する場合は、1人あたりの金額が25,000円以上（国際観光旅客税、航空保険料、空港施設利用料、燃油付加運賃（サーチャージ）を除く。）の場合のみ対象となります。（当分の間、アジアナ航空が運航する定期便を除く。）
- ② パッケージ旅行商品以外でLCCを利用して渡航する場合は、航空運賃（国際観光旅客税、航空保険料、空港施設利用料、燃油付加運賃（サーチャージ）を除く。）が20,000円を超える場合のみ対象となります。
- ③ 県内のグループとは、以下のいずれかの要件を満たす場合とし、それ以外のグループは県外グループとします。
 - i) グループの所在地（グループの事務所等の所在地又は代表者の居住地）が宮崎県内にあること。
 - ii) グループの構成員の半数以上の居住地が宮崎県内にあること。
- ④ 人数はグループの構成員のみとし、旅行会社の添乗員は含みません。
- ⑤ 国際定期便と同一路線を運航する国際チャーター便は原則として対象となりません。ただし、定期便と同じ航空会社が運航する場合は、臨時便扱いで補助対象となります。
- ⑥ 年度をまたぐ渡航は、片道のみについても補助対象となりません。

(例) 令和2年3月30日渡航/令和2年4月2日帰国 → 片道利用も対象外

詳しくは、下記事務局にお問い合わせください。

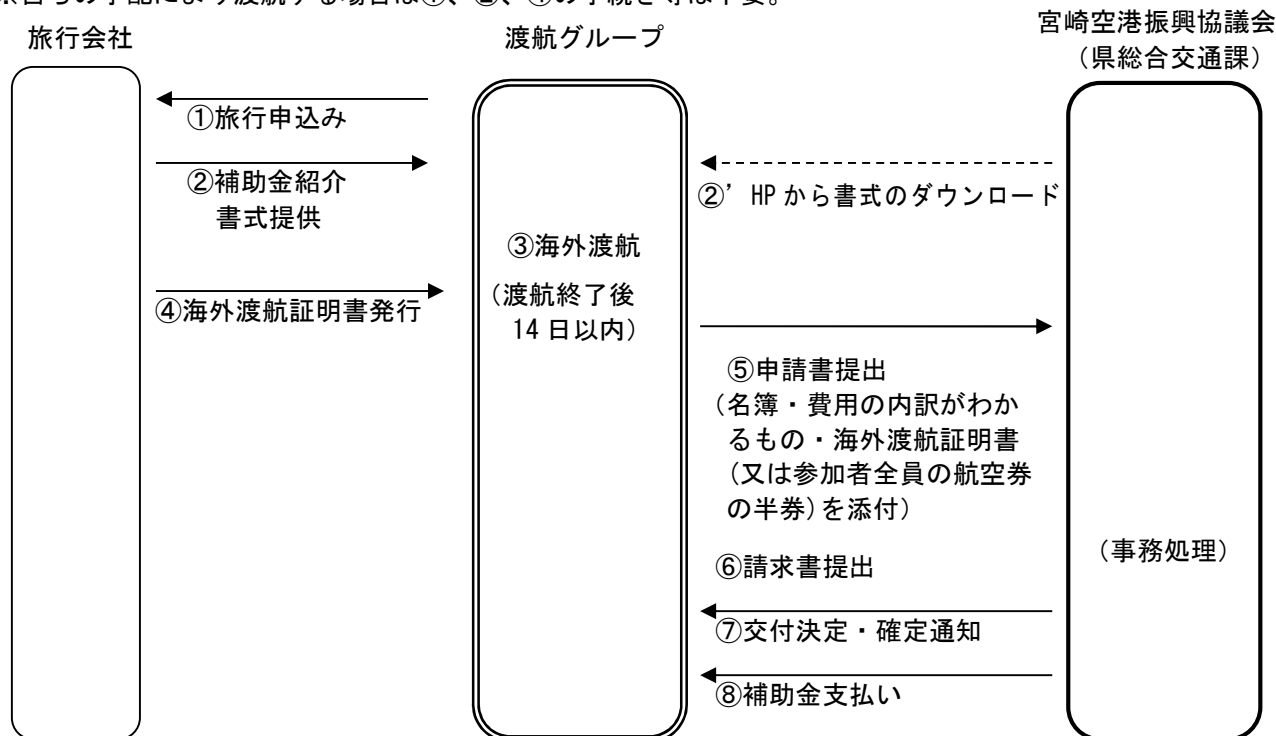
また、補助金の申請書式は、下記のホームページからダウンロードできます。

○宮崎空港振興協議会／事務局 〒880-8501 宮崎市橘通東2-10-1 宮崎県総合政策部総合交通課内
TEL:0985-26-7038 FAX:0985-24-1383 URL <http://www.miyazaki-apc.jp>

■ グループ交流促進補助金の申請手続きと注意事項

○旅行会社を通じて渡航する場合の流れ

※自らの手配により渡航する場合は①、②、④の手続き等は不要。



- 注意事項)
- ① 旅行会社の職員が申請することはできません。また、渡航グループの人数に添乗員は含められません。
 - ② 補助金の振込先は、原則としてグループの代表者の個人口座とします。ただし、グループ名義の口座名の使用も可能です。
 - ③ 渡航終了後 14 日以内に当該年度の 3 月 31 日を迎える場合は、申請書の提出期限は、3 月 31 日とします。
 - ④ **年度をまたぐ渡航は対象となりません。(帰国日が翌年度 4 月 1 日以降になる場合は、片道のみについても補助対象となりません。)**

※ 申請書式は、宮崎空港振興協議会ホームページ (<http://www.miyazaki-apc.jp>) でダウンロードできます。

国際線グループ交流促進補助金交付申請書

〇〇年〇月〇日

宮崎空港振興協議会会長 殿

代表者は原則として渡航者に含まれること（グループが法人などの場合は渡航者でない法人の代表者でも可）

郵便番号 〒880-0000
住所 宮崎市〇〇町△△番地
申請者 電話番号 0985-00-xxxx
グループ名 〇〇〇の会
代表者名 宮崎太郎

代表者本人住所
グループが法人などの場合はその重視でも可

国際線グループ交流促進補助金交付要綱に基づく〇〇年度国際線グループ交流促進補助金については、下記のとおり交流活動を実施しましたので、28,000円を交付されるよう同要綱第4条の規定により申請します。

人数	4名		
渡航先 (該当に○)	韓国・台湾・ その他 (シンガポール 経由(韓国))	乗継の有無	有 ・無
	往路のみ・復路のみ・ 往復	乗継航空会社	アジア航空
渡航日程	往	出国	〇〇年〇月×日(水) 12時30分 宮崎空港発 便名: OZ157
	路	(乗継の場合)	〇〇年〇月×日(水) 16時10分 仁川空港発 便名: OZ751
	復	(乗継の場合)	〇〇年〇月×日(金) 6時20分 仁川空港着 便名: OZ752
	路	帰国	〇〇年〇月△日(金) 11時20分 宮崎空港着 便名: OZ158
↑定期便を片道利用の場合でも、出入国の空港及び発着時間、便名を記入。福岡空港経由で帰る場合は「〇時△分福岡空港着」			
交流内容 (該当に○)	1 昼食・夕食での親睦・交流	2 関係団体・企業等表敬訪問	
	3 歴史文化関連施設等の視察	4 その他 ()	

項目	実績額	備考
渡航費用(1人当たり) (国際観光旅客税、航空保険料、空港施設利用料及び燃油サーチャージを除いた額)	100,000円	

注1: 参加者名簿、費用の内訳が分かる書類、海外渡航証明書(又は参加者全員の航空券の半券)を添付すること

注2: 渡航終了後14日以内に提出すること。ただし、14日以内に当該年度の3月31日を迎える場合は、3月31日までに提出すること。

記入例

参加者名簿

※ この様式に代わるもの（旅行会社の作成する名簿等）でも可

グループ名

〇〇〇の会

	氏名	性別	年齢	年齢	所
1	宮崎太郎	男・女	49		宮崎市〇〇町△△番地 ←代表者は正確な住所を記入
2	〇〇●●	男・女	45		宮崎市
3	〇〇△△	男・女	16		××町
4	〇〇××	男・女	13		××町
5		男・女			(以下、同様に)
6		男・女			
7		男・女			
8		男・女			
9		男・女			
10		男・女			
11		男・女			
12		男・女			
13		男・女			
14		男・女			
15		男・女			
16		男・女			
17		男・女			
18		男・女			
19		男・女			
20		男・女			
21		男・女			
22		男・女			
23		男・女			
24		男・女			
25		男・女			

※代表者は番地等詳細に記入。他の渡航者は住所地の市町村名（県外在住者は都道府県名から）のみ記入で可。人数が多数になる場合は、様式を複写して記入すること。

様式第1号の2（第4条関係）

海外渡航証明書（旅行会社用）

△△年○月×日

宮崎空港振興協議会会長 殿

個人で旅行を手配された場合は、この様式は不要。
ただし、渡航者全員の航空券の半券を添付して提出。

住所 宮崎市○○通××番地
会社名 (株)○○社宮崎支店
代表者名 支店長 日向 太郎
TEL 0985-××-××××

旅行代理店の会社
ゴム印・代表者印

下記のグループについては、当社の取扱により下記日程のとおり渡航したことを証明します。

記

グループ名	○○○の会	
代表者名	宮崎太郎	
人数	4名（別紙参加者名簿のとおり）	
渡航先	韓国・台湾・香港（ 経由（ ） ） ソウルを経由して他の国に渡航する場合は、「最終目的地名（経由地 韓国）」とすること	
渡航日程	往路	出国： ○○年 ○月 ×日（水） 12時30分 宮崎空港発 便名：OZ157
		（乗継の場合） ○○年○月×日（水） 16時10分 仁川空港発 便名：OZ751
	復路	（乗継の場合） ○○年○月×日（金） 6時20分 仁川空港着 便名：OZ752
		帰国： ○○年 ○月 △日（金） 11時20分 宮崎空港着 便名：OZ158 ↑定期便を片道利用の場合、出入国の空港及び発着時間、便名を記入。福岡空港経由で帰る場合は「○時△分福岡空港着」
旅行代理店 担当者名	日向花子	

様式第3号（第8条関係）

国際線グループ交流促進補助金交付請求書

年 月 日

日付は空欄とすること（当方で記入）

宮崎空港振興協議会会長 殿

郵便番号 〒880-0000
住 所 宮崎市〇〇町△△番地
申請者 電話番号 0985-〇〇-××××
団体名 〇〇〇の会
代表者名 宮崎太郎 印

日付や文書番号は空欄で提出（当方で記入）

年 月 日付け宮空振第 号で交付決定及び交付額の確定のあった
年度国際線グループ交流促進補助金については、国際線グループ交流促進補助金交付要綱第8条の規
定により下記のとおり請求します。

記

1 交付確定額 円

金額は空欄で提出（当方で記入）

2 請求額 円

金融機関名	(振込銀行) 〇〇銀行 (支店名) △△支店
預金種目	普通
口座番号	1 2 3 4 5 6 7
フリガナ 名義人	ミヤザキ 知 宮崎 太郎

※口座の名義人は代表者またはグループ名と一致すること

※口座名義には、必ずフリガナを記載すること